

ロジスティクス環境会議

第7回環境パフォーマンス評価手法検討委員会 議事録

・日 時：2004年10月1日(金) 15:00～17:00

・場 所：東京・港区 浜松町東京會館 パールルーム

・出席者：24名

・内 容：

- 1) データ収集方法事例ガイドについて
- 2) その他

・開 会

定刻、増井委員長により、開会が宣された。

・議事の経過

1. 議 事

増井委員長の司会進行のもと、以下のような議事が行われた。

1) データ収集方法事例ガイドについて【資料1-1】

事務局より、資料1-1に基づき、「データ収集方法事例ガイド(試案)」について、構成や項目を中心に説明が行われた。表現等については、ガイドラインに則した内容に修正したい旨の説明が行われた。また、委員メンバー各社から情報提供いただいた算定式やデータ入手方法等を一覧形式にまとめた結果(P11)の報告が行われた後、以下のような意見交換が行なわれた。

【主な意見交換の内容】

- 【委 員】算定の標準式として「燃料使用量」を活用することが記載されているが、現時点では、燃料データの収集および委託側と受託側でやり取りすることが難しい。よって、「燃料使用量」を活用するための方法論とステップを示す必要があるのではないか。
- 【委 員】精緻なデータを算出するためには、人手、時間がかかるため、簡便的な方法を提示することが必要ではないか。
- 【委 員】削減データを示すためには、「トンキロ」がわかりやすいのではないか。
- 【委 員】「トンキロ」では、例えばトラック削減等の効率化が成果として把握することが出来ない等の問題点がある。
- 【委 員】「トンキロ」の問題点も理解できるが、荷主としては、現時点で自からが入手可能なデータで算定するしかない状況にある。
- 【委 員】鉄道や船、航空については、触れないのか。
- 【委 員】自社では「トンキロ」は活用していない。資料1-1、5頁にもあるように、輸送機関の原単位データが輸送機関の大きさ、トラックで言えば、どの車格なのか不明である。
- 【委 員】係数についても、どれを使うべきか、推奨を提示した方が良いのではないか。

【委員】基本的には、公になっているものであれば、出典を明記すれば問題ないのではないか。

【事務局】LEMSでは、環境省の係数を掲載している。

【委員】海外では「トンキロ」把握できないため、燃費を活用している。

以上のような意見交換が行われた後、基本的な構成としては、以下のようにデータ収集方法ガイドの作成を進めることが確認された。

(1) 鉄道、船、航空についても参考資料として原単位等のデータを掲載する。

(2) ガイドラインとして、算定方法等については標準化の方向性を提示する表現にする。

2) 今後のスケジュール

第8回委員会

日時：2004年11月17日(水) 15 - 17時

会場：JILS会議室

2. 閉会

以上をもって全ての議事を終了し、増井委員長は閉会を宣した。

以上